

全国消団連は今年で50周年！—9月7日「記念シンポジウム」開催

消費者ネットワーク

2006年5月1日

第107号

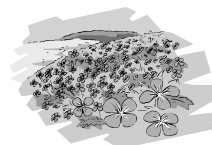
全国消費者団体連絡会
発行責任者 神田敏子

TEL : 03-5216-6024

FAX : 03-5216-6036



消団連とこのごろ



「さいたまゴールドシアター」という高齢者だけの劇団が、今月誕生した。県芸術文化振興財団の芸術監督で演出家の蜷川幸雄氏が主宰する劇団である。この劇団を作るに当たり、60歳以上を条件に募集した結果、受験者はなんと1011人も集まったという。その中から選ばれた48人の平均年齢は66.7歳、中には80歳の女性もいる。プロの俳優を目指し、来月からきびしい稽古に入る。7月末に「中間発表」を予定しているそうだが、まだその作品のプランは明かされていない。どんな演劇を見せてくれるのか、非常に楽しみである。

一方、NPO法人「地域創造ネットワーク・ジャパン」という組織が来月設立される。07年から団塊世代の退職期を迎えるが、彼らの力を地域で生かしてもらおうというのがねらいのようだ。すでに多くのシニア世代が活動しているが、それら5団体の呼びかけで発足する。浅野史郎・前宮城県知事や作家の落合恵子氏らが代表理事に就任するらしい。全国に中核となる地域センターを100箇所設置し、ボランティアやNPOへの参加相談、就労支援研修、消費生活問題に係る相談等を行うという。東京都の調査によると、こうしたボランティア活動等に参加したいという人は、ここ数年でかなり増えてきている。

この他、高齢者や団塊世代向けのビジネスも色々研究され、様々なニーズに応えるものが登場し始めている。50歳以上を対象とした会員制の図書館もある。そこでは本を揃えるだけでなく、勉強会や相談スタッフが各種の相談にも応じてくれる。おしゃべりをし、情報や知識の交換ができると好評のようだ。

このようなサービスや場の提供により、高齢者も積極的に社会参加ができるようになって来た。これまで「高齢化社会」というと、何かと暗いイメージで語られてきたが、むしろ元気で積極的な高齢者の活動に期待すべきではないだろうか。定年退職は、イコール社会からの退職ではない。次のステージで更に豊かに活躍して行って欲しい。

もくじ

消団連とこのごろ	・・・p.1
「消費者団体訴訟制度の今国会での導入をめざす国会集会」開催	・・・p.2
全国10箇所で厚生労働省と農林水産省合同による 「米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会」がおこなわれました。	・・・p.4
司法支援センター“法テラス”設立!!	・・・p.5
国際消費者機構(CI)は、コーデックス委員会食品表示部会に 向けた準備作業をすすめています。	・・・p.7
全国消団連会員団体の活動紹介	・・・p.8
全国消団連は、今年で50周年！ 様々な記念事業を行います！	・・・p.11
お知らせ・編集後記	・・・p.12